



長崎県知事  
中村 法道

## 世界へこぎ出せ！ 長崎

ご挨拶を申し上げます前に、先の東日本大震災により、不幸にしてお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、避難生活を余儀なくされている皆様をはじめ、被災された多くの皆様に心からお見舞いを申し上げます。

本県もかつて、長崎大水害と雲仙普賢岳噴火災害という大きな災害を体験いたしましたが、その都度、全国の皆様から温かい励ましとご支援をいただき、今日の復興を実現することができました。その恩返しの気持ちをこめて、県・市一体となって職員を派遣するなど、被災地および被災者の支援に全力を挙げて取り組んでいるところでございます。

さて、私は、昨年3月の知事就任以来、「こぎ出せ！ 長崎」を旗印に、「人が輝く、産業が輝く、地域が輝く長崎県づくり」に邁進してまいりました。

特に、アジアを中心とした海外の活力を本県に取り込み、具体的な成果を創出し、経済活性化と県勢浮揚を図るため、「アジア・国際戦略」を策定し、これまでの海外との友好の歴史や地理的強みを活かした「クルーズ客船の受入拡大」、「県産品の東アジア輸出拡大」、「対中国ビジネスサポート体制強化」などの戦略プロジェクトを推進しているところです。

中でも中国とは、1972年9月の日中国交正常化の翌月には、地方自治体の先頭に立って友好訪中使節団を派遣したことに始まり、1979年には長崎～上海定期航空路の開設、1985年には中国駐長崎総領事館の設置など、アジアに最も近い本県の特性を活かし、幅広い交流を深めてきたところです。

特に、中国の歴史上大きな意義をもつ辛亥革命から100周年を迎える本年は、この革命を指導した「孫文」と、彼を物心両面で生涯支え続けた本県出身の「梅屋庄吉」に光を当てる取り組みとして「孫文・梅屋庄吉と長崎」発信プロジェクトを進めております。100年前の国境を越えた二人の厚い絆の物語を広く紹介し、さらなる交流人口の拡大につなげていきたいと考えております。

加えて、日中両国の新幹線網を長崎～上海間の航路で結び、「新アジア軸」を構築しようとする「上海航路復活プロジェクト」を国家レベルのプロジェクトとして位置づけるよう取り組んでおります。

長崎～上海航路は、本県と上海市の友好交流関係樹立15周年に当たる今年11月の就航を予定しており、この航路によりアジアの活力を本県から日本全体に拡げ、東日本の早期の復興を支えるものにしてまいりたいと考えております。